

☆ 今号の特集 ☆

へび

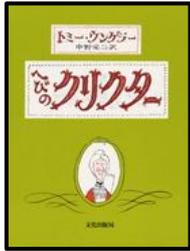
今年の干支は「へび」。

動物をまるのみにしてしまうへびや、おそろしい毒をもったへびなど、色や大きさ、とくちょうもさまざま！

本にはどんなへびが出てくるのでしょうか？

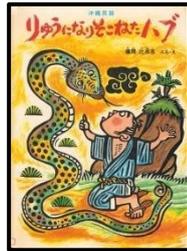
たんだ新聞

たんだ新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
TEL 04-7184-1110



「へびのクリクター」
トミー・ウンゲラー／作
中野 完二／訳
文化出版局 (EA ウ)

ブラジルに住む息子から、
ポドさんの誕生日にとどいたのは、なんとへび！ポドさんは「クリクター」と名前をつけて、子どものようにかわいがりました。アルファベットや数字もおぼえ、やがて町じゅうから愛されるようになったへびのお話です。



「りゅうになりそこねたハブ」
儀間 比呂志／ぶん・え
福音館書店
(EA ギ/MEA ギ)



「へびと船長」
ふしみ みさを／文
ポール・コックス／絵
BL 出版 (EA コ/MEA コ)

船をうしなった船長は、海辺で出会ったへびにいつもやさしく声をかけていました。ある日、へびは船長に船と船乗りを用意させます。船はあらしをのりこえ、ふしぎなおばあさんが住んでいる港へ着きました。へびはおばあさんからある物をうばってきてほしいと船長にたのみます。



「からすのカーさんへびたいじ」
オールガス・ハクスリー／文
バーバラ・クーニー／画
じんぐう てるお／訳
富山房 (EA ク)



「うまれたよ！へび」
関 慎太郎／写真・文
岩崎書店 (EM ヨ)

へびのあかちゃんが生まれてから大人になるまでの様子がよくわかる写真絵本です。



「いしになったかりゅうど」
大塚 勇三／再話
赤羽 末吉／画
福音館書店 (EA ア/MEA ア)

昔、モンゴルにハイリブという心のやさしいかりゅうどがいました。ハイリブはつるにおそわれた白へびを助け、お礼に鳥やけもの言葉がわかる宝の玉をもらいます。けれど、もしも宝の玉のことをだれかに話せば石になって死んでしまうのです。ある日、「山がぐずれて大水がくる」と鳥が話すのを聞いたハイリブは…？



「へびとトカゲ」
増田 辰樹／著
あかね書房 (487)

なぜへびは自分より大きな生き物をまるのみできるの？足がないのにどうやって歩くの？へびの体のしくみを知ることができます。

もっとくわしく！

物語や昔話集の中にも、へびが出てくるお話があるよ。さがしてみてね。

- ★「妖怪変化人にとりつくの巻」(草土文化 1-ヌ)
- ★「グリムの昔話」1 (福音館書店 2-グ、M2-グ)

この本だいすき!

●うどんやのたあちゃん

鍋田敬子／さく 福音館書店

おどってるところがすき!
こんたのおとうさんがすき。
ほこらのかいだんが高いから
こわそうだった。



ゆいたん (アビスタ本館)

●ふたりはともだち

アーノルド・ローベル／作 三木卓／訳
文化出版局

「はるがきたよ」って教えたかえるくんも、
病気を助けたがまくんも、一人ともなかよし
で助け合っているから、いつもいっしょで友
だちなんだよと思いい、うれしいです。わたし
にもそんなときがきてくれるといいです。

ひらさわこと子 (アビスタ本館)

●ターちゃんどルルちゃんのはなし

たかどのほつこ／作・絵 アリス館

ターちゃんは、わたしよりなわとびが上手
です。けれど、すぐにひっかかってしまうと
ころがにているなと思いい、なわとびをこれか
らも頑張ってほしいと思いいます。ルルちゃん
は、ターちゃんのお話のときに十回出てきた
ので、「あーさっきの子だ!」と思いい、びっ
くりしました。とてもおもしろい作品です。

林灯里 (アビスタ本館)

●ぼくの手わたしの手

中川ひろたか／作 齊藤美香／写真 保育社

しるる手がおもしろかった。
こしむらめい (アビスタ本館)

●ハンピの市場めぐり

カンジョンピ／作 おおたけきよみ／訳
光村教育図書

市場には、いろいろな物があり、人がいっぱい
いるので、ぼくも市場めぐりに行きたいな。

大澤翔 (布佐分館)

●このねじ、うちのねじー

ヴァージニア・カール／作・絵 こだまともこ／訳
徳間書店

このお話は、村の人たちがねこをおいかけ
るお話で、ねこはにげるのがとくいなんだな
と思いいました。

伊藤唯菜 (布佐分館)

●おべんとう



小西英子／さく 福音館書店

いろいろな本のおべんとう
を見てきたけど、この本が
一番おいしそうでした。い
ろいろな具がいが入ってい
て、食べてみたくなりました
。とくに「ぶんわりのたまごやき」がおいしそ
うでした。いつかわたしも、こんなぶんわりな
たまごやきを作って、自分のおべんとうに入
れてみたいですね。そして「ポテトサラダ」もお
いしそうでした。

山田杏羽 (布佐分館)

●すみれとあひ

矢間芳子／さく 森田竜義／監修 福音館書店

学校でおんどくして、楽しかったからすき
になった。2年から3年のときです。

いちきまお (布佐分館)

●スイミー

シオ・シオニ／作 谷川俊太郎／訳 好学社

一人ぼっちになったから一人であみぎをた
んけんした、ほんとうは赤いさかなのきょう
だいたちと行きたかったと思いい。スイミーが
一人ぼっちになったからかわいそう。

鈴木香蓮 (湖北台分館)

●どこからきたの? おべんとう

鈴木まもる／作・絵 金の星社

この本はどうやっておべんとうになった
のかをさいしょから書いていて、たまごや
き、ポテトサラダ、おにぎり、アツフライ、
ミニトマト、フロッキーとコーンのマヨネ
ーズあえ、たくあん、バナナ、おべんとうば
こ、おべんとうぶくろ、ぜんぶ書いていてわ
かりやすかったです。外国からのバナナはき
いろになる前に「yellow」ことをはじめて知りま
した。

かとりあいな (湖北台分館)

●みてよびかびかランドセル

あまんきみこ／文 西巻孝子／絵 福音館書店

かこちゃんがランドセルをみんなに見せ
て、みんなが、かこちゃんのランドセルはぶ
かぶかだねずみの子には合わないよ、と言っ
たらねずみの子がなきだしちゃってどうし
ようと思いいたら、ねずみのお母さんがランド
セルのざいりようをもってきてくれて、みん
なで作ったのがおもしろいと思いいました。

岡田結月 (湖北台分館)